

研究課題 (テーマ)	医薬品工学科のキャリア形成プログラム		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	医薬品工学科	教授	米田英伸
研究結果の概要			
<p>医薬品工学科の令和7年3月の卒業生(5期生)の県内就職率は77.7%、大学院の進学率は53.8%であった。今後も富山県の製薬産業を担う人材を育成し、かつ富山県から新薬や新技術を生み出すべく専門性の高い人材を育成するために、この高い県内就職率と大学院進学率をキープすることが望まれる。そのため、医薬品工学科の教育研究内容と富山県の製薬産業における研究開発、製造工程、製造管理、品質管理との関連性について理解を深めさせるとともに、研究のおもしろさに気づくきっかけを与え、研究者としての意識を目覚めさせることによって、大学院進学を後押しすることを目的とした。</p> <p>研究に対する興味を学部の早い段階から持たせるために、医薬品工学科1年生を対象とした、研究室訪問を実施するとともに、研究室での模擬実験を実施するにあたり、その内容を検討した。計画していた県内製薬企業の研究者の招へいは、スケジュールの調整がつかず実施できなかったが、医薬品工学科および生物・医薬品工学専攻博士前期課程の学生向けに特化した企業研究プラットフォームの作成に協力し、富山県内を中心とした企業情報や就職活動に関する情報を学生に提供した。企業研究プラットフォームは令和8年3月末の時点でのべ1,324pvと多くの学生が閲覧している。また、県内製薬企業等の人事の方と面談し、採用活動や選考方法などに関する情報交換を行い、その情報を学生と共有した。これらの取り組みの結果、当初の目的として挙げた県内就職率50%以上、大学院進学率50%以上を達成した</p>			
今後の展開			
今後も当初の研究計画において目標としていた県内就職率50%以上、大学院進学率50%以上を達成するべく、本プログラム内容を継続する。			